

販売サイトの違いによる一般用医薬品情報の現状

林 洋典

本研究では、インターネット販売での一般用医薬品について提供されている情報を調査することで、販売サイトで提供される医薬品情報の現状をつかみ、販売サイトによる医薬品情報提供の違いがあるのかを考察することを目的とした。インターネットで一般用医薬品を購入するという、セルフメディケーションの中では容易に行うことができるうちの一つを、安全に行うための状況検討の一助とする。一般用医薬品を販売しているサイトを本研究では調査対象として取り上げた。

事前調査によって定めた9種類の調査項目について、楽天市場において、チョコラBBプラス60錠を販売しているサイト、スマイル40EX15mlを販売しているサイト、パブロンゴールドA微粒44包を販売しているサイト、ロキソニンS12錠を販売しているサイト、太田胃散140g、ザ・ガードコーワ整腸錠PC160錠を販売しているサイトそれぞれで提供される医薬品情報の有無を調査した。

調査の結果、「用法及び用量」、「使用上の注意(相談すること)」、「保管及び取り扱い上の注意」の項目に関しては、販売サイトでの医薬品情報と最新版の添付文書での医薬品情報とに相違が見られた。「用法及び用量」については、その関連注意の提供が法律で義務付けられていないことが要因として考えられる。「使用上の注意(相談すること)」および「保管及び取り扱い上の注意」で見られた相違は、添付文書の改訂に対し、掲載情報を更新しない販売サイトが少なからずあることが要因として考えられる。さらに、太田胃散140g、ザ・ガードコーワ整腸錠PC160錠、スマイル40EX15mlは全て第2類医薬品あるいは第3類医薬品である。これらは医薬品情報の提供が義務化されておらず、そのこともこれらの医薬品情報が更新されなかったもう一つの要因と考えられる。

以上のことから、医薬品をインターネットで購入する際には販売サイト以外(製薬会社のサイトなど)で最新の添付文書を確認することを提案する。特に、「用法及び用量」、「使用上の注意(相談すること)」、「保管及び取り扱い上の注意」の項目については販売サイトと最新版の添付文書との間で情報の相違が多く見られたため、一層注意するべきである。

(指導教員 三波千穂美)